



特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

見守り 支え 伝えあう

私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します



特集1 講師派遣研修施設 訪問・インタビュー

北区社会福祉協議会 友愛ホームサービス事業



北区社協マスコットキャラクター アイちゃん



活動報告 第2回 福祉・介護の講習会

アサーションから学ぶコミュニケーション技術

講師 富澤優江先生



特集2 戦後70年 広島を訪れて思うこと

石井須美子



広島原爆ドーム・禎子の像



2015年度事業報告

Salon de Y Y 会員交流広場

ボランティアさんを紹介します

地域住民とともに地域福祉を推進

北区社会福祉協議会（以下、北区社協）が実施している「友愛ホームサービスサポートスタッフ養成研修」に、当センターより研修講師の派遣をしています。

今回は、北区社協を訪問し、北区社協が実施している友愛ホームサービス事業の状況や課題、当センターへの要望などについて、伺ってきました。



地域のささえあい活動として開始

誰もが安心して暮らせるまちづくり」をめざして、地域住民や町会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア等の方々と地域福祉をすすめています。

友愛ホームサービスは、昭和 61 年に地域の住民同士がお互いに支えあい、助け合うサービスとして誕生しました。当時は介護保険制度もなく家庭奉仕員派遣事業が主な行政サービスでした。北区社協では、既存のサービスからもれてしまうニーズにはボランティア等の協力で対応してきましたが、増え続けるニーズに対応できるだけのボランティアを確保することは難しく、住民参加型の有償在宅福祉サービスである友愛ホームサービスサポートスタッフの育成に取り組んだそうです。当時、東京都内の社協では初めての取り組みであったとのことでした。

活動の内容は、家事援助、外出・通院・病院内の付添、入退院支援や入院中の生活支援、通所・通学付添です。現在は家事援助および通院付添の利用が多くなっています。

年齢にかかわらず、住み慣れた地域で支えあい

友愛ホームサービスの利用者は、おおむね 65 歳以上の高齢者や心身に障害のある方、難病や病弱、怪我などにより、福祉的な支援が必要な方で、平成 26 年度は、約 350 名が登録し約 160 名の方が利用しています。平成 27 年度は、登録数が 400 名を超えており利用者数も増加傾向にあります。

サポートスタッフは、特に資格は問わず地域の福祉に役立ちたいという意欲のある心身ともに健康な方で、平成 26 年度は 209 名が登録しています。年代は 50 歳代が中心ですが、80 歳代のサポートスタッフも 3 人活動しています。また、先日退いた 90 歳の男性サポートスタッフは庭の手入れなど、長く活動を続けていました。

このように、健康であれば年齢にかかわらずサービスを担う側にもなれ、住み慣れた地域とともに支えあう暮らしを実践しています。

サポートスタッフの募集は、区報を通して年に 3 回行っています。各回 30 名ほどの応募がありますが、説明会や書類選考・面接を経て、当センターが講師派遣をしている研修会の実施時点では、応募数の 3 分の 1 程度になるそうです。

当センターの派遣講師からも、受講される方々は「みなさん大変熱心で意欲があり、研修のやりがいを感じる」との声を聞いています。



北区社協 地域福祉係事務室

社協相談員の役割と事業に対する思い

利用者とサポートスタッフをコーディネートするのが社協の 5 名の相談員です。利用者の方の要望とサポートスタッフのマッチングにはご苦労が多いようです。食事作りを希望する高齢者の方が多い一方で、利用者宅での食事作りは難しいと思うサポートスタッフは少なくありません。また、利用料を支払うことから多くのサービスを期待する方、介護保険の利用料と比較する方など、具体的な支援開始後もさまざまな調整がでできます。

サポートスタッフの活動時間は、9 時～17 時。利用料は 1 時間 900 円で、その金額がサポートスタッフへ支払われています。住民同士の支えあい活動として、報酬ではなく、支えてくれた方への謝礼として利用料を位置づけています。

北区社協は社会福祉法人として地域貢献に取り組むとともに、住民一人ひとりが地域福祉の主役として積極的に参加していただく活動の一つとしての「友愛ホームサービス事業」に取り組んでいます。

この活動をとおして、地域の現状や福祉・介護などについて理解を深めてもらえるよう、事業に積極的に取り組み、そのサポートスタッフの育成・研修に力をいれています。



インタビューに答えてくださったお二人

取材を終えて

当センターが友愛ホームサービスサポートスタッフ養成研修に講師派遣をして、5 年になります。研修内容については、これまでも十分な打合せなどを行わせていただいています。

受講者の方からは「研修がわかりやすい」とのご意見もいただいておりますが、さらに、地域・利用者の現状やサポートスタッフの経験などを踏まえた研修内容の検討をとの要望をいただきました。

今後も、北区社協のご意見を基に、サポートスタッフ養成研修の企画に引き続き協力させていただければ光栄と思い、帰路につきました。



車椅子介助の演習風景（和田稲子講師）

北区社会福祉協議会（東京都北区岸町 1-6-17）

主な事業：サロン「縁じょい」（だれもが気軽に立ち寄れる地域の居場所）の開催、コミュニティソーシャルワーカーの配置と小地域福祉活動拠点づくり、権利擁護センター「あんしん北」の運営、友愛ホームサービス、地域ささえあい活動支援、老い支度連続講座、介護予防施設「デイホーム」・北区くらしとしごと相談センター（区の委託事業）等

1. 講師派遣事業

講師派遣研修は、新規の契約もあり、上半期から現在に至るまで、ほぼ計画通りに実施できている。

今年度は、法人研修が1件増え、目黒区・北区・町田市・東村山・八王子の5件で、広範囲な地域であり、対応できる講師の確保に努めていきたい。

NPOとして研修事業に取り組み5年が過ぎた。当センターの研修の柱となる、スーパービジョン（以下SVとする）研修と階層別研修（新人研修や中堅研修）を同一法人内で実施する研修では、SVへの理解が深まり、その体制が整備されつつある。SV研修受講者である管理者は、事例を通して、スーパーバイザーとしての在り方、自己の課題を意識し、スーパーバイザーとしての職員との関わりを意図的に進める姿勢が強められている。一方、新人や中堅研修を受講する職員は、スーパーバイザーとの関係を意識し、研修での学びから職場における課題に主体的に取り組む等の動きが出ている。

研修実施法人のこのような変化は、当センターが複数年継続して実施している「OJTによるSDS（自己啓発システム）研修」の仕組みを理解し、協力する体制を法人内で作り上げてきたことから現れてきた。法人研修担当者が積極的に研修に関わり、受講する職員を支援するしくみを強化している。職員育成に必要な土壌が形成され、当センターの目指す研修の在り方が実現しつつあることを実感している。

年度当初の課題1) 研修の質の向上をめざし、研修プログラムの開発と研修内容の充実。2) コーディネートの働きを検証し、コーディネート機能向上とコーディネータの育成。3) 講師との連携の強化と同時に、講師の発掘と育成を図る。このことについては継続したテーマとして理事会において話し合いを進め取り組んでいく。

2. 講座・講習及び福祉啓発事業

1) 介護福祉士実習指導者講習会開催予定

開催日時：2016年1月21日（木）・30日（土）・2月4日（木）・13日（土） 現在募集中

2) 第2回会員向け講習会報告

「アサーションから学ぶコミュニケーション技術」 講師：富澤優江

福祉職に必要なコミュニケーションスキルというだけでなく、親子関係などすべての人間関係に共通なテーマと考え企画する。参加者は23名。内訳は会員（個人）8名・会員（団体）3名・卒業生4名・非会員8名であった。今回はマロニエ会の総会の通知に講習会のチラシを同封することが出来、卒業生の参加に繋がった。

また、卒業生割引などの特典を設けたことで、卒業生が参加しやすい工夫を図った。

3. 東京都福祉サービス第三者評価事業

今年度中に評価者との懇談について検討。今後の取り組みについて1月理事会で話し合いを行う。

4. 会報 今年度より外部業者に印刷を依頼。A4カラー印刷となり、見やすい構成を目指している。

2015年7月31日第10号発行200部

2015年12月16日第11号発行200部

2014年度事業実績と2015年度事業（2015年12月現在）

	事業内容	内 訳	2014年度(12月現在)	2015年度(12月現在)
講師派遣研修	継続研修	法人研修	3箇所	5箇所
		高齢者施設	4箇所	4箇所
		障がい者施設	1箇所	1箇所
		社会福祉協議会	1箇所	1箇所
	単発研修	高齢者施設	5箇所	4箇所
		障がい者施設	1箇所	1箇所
		有償ボラ関連	2箇所	2箇所
		子ども(保育園・学童)	1箇所	2箇所
		老福連研修中堅研修	0	1
		YWCA関連	1箇所	1箇所
講座講習	介護実習指導者講習会	1～2月実施	受講20名	定員30名
	福祉・介護の研修会		2月実施23名参加	10月実施参加23名
研修旅行コーディネーター	愛恵福祉支援財団国内研修	6月・10月実施		各20名+5名

◆◆◆ 活動報告（第2回福祉・介護の講習会を実施） ◆◆◆

～より良いコミュニケーションをめざして～

去る10月10日（土）に、東京YWCA会館会議室において2015年度第2回福祉・介護の講習会を実施しました。

今回は、親業訓練シニアインストラクターの富澤優江先生を講師に迎え、「アサーションから学ぶコミュニケーション技術」をテーマに、23名の参加で行われました。



富澤優江先生

アサーションとは、「自分も相手も大切にする自己表現」です。対人援助職は、日々接する利用者やそのご家族、職員間や関係事業所等との円滑な関係が求められます。相手も自分も安心でき、より良い関係を築くためのコミュニケーションスキルをより向上させるために、いつもの「ことばかけ」が相手にどのように伝わっているかを体験し、思いやりや責任感が伝わる聞き方、伝え方について学びました。

参加者からは、職場だけではなく、家族や活動している団体でのコミュニケーションの取り方などにも役立たい。またこのような研修に参加したいと、様々なご意見や感想をいただきました。

参加者の声（アンケートから一部をご紹介します）

- コミュニケーションのとり方として、まずは相手の言いたいことに耳をかたむけるという事を教えていただいた。今後現場で活かしていきたいと思った。
- 利用者さんから苦情の話があった時についつい結論を急いでしまうが、まずはじっくり話を聞こうと思った。
- 相手を大切にしながら自分の思いを伝えていくという技術は、高齢者介護を行う上でとても重要な技術であり、認知症の高齢者に接する機会も多いのでとても役に立った。
- 相談業務を行う上でより良い関係を作ることはとても大事で、どうすると良いか、また相手が困っている時の効果的な聞き方など相手の状況に応じた聞き方の方法を学ぶことができた。

なお、次回は、アサーション研修の第2弾として「エニアグラム（性格タイプ論）」の研修を富澤先生に継続してご担当いただくことになりました。

第3回 福祉・介護の講習会

エニアグラム（性格タイプ論）から学ぶコミュニケーション

講師 富澤 優江（親業シニアインストラクター）

講習会で、自分自身の性格タイプを知り、自己理解を深め、研修を受けているメンバーとの交流を通して、他者理解を進めてみませんか。

日時：2016年2月20日（土）13：30～15：30

会場：東京YWCA会館217号室

会費：会員 1,000円、非会員（一般2,500円・卒業生2,000円）

講習会終了後、親睦会（お茶会）を予定しています。是非ご参加ください。

お申し込みは、事務局まで TEL 03-6273-7134



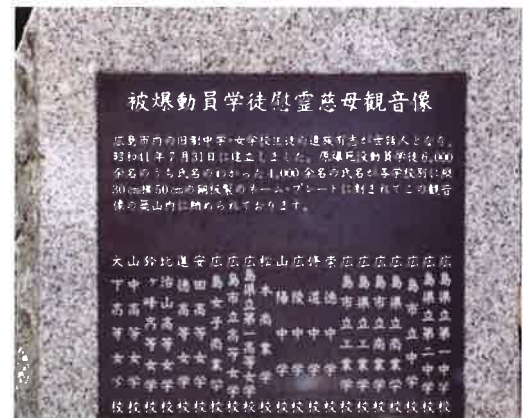
2015年7月下旬、8月6日広島市の平和公園で開催される、平和祈念式典に出席したいと思い立ち、行動を起こした。私の願いに新田先生が応えて下さり、広島YWCAの関係者に連絡し、8月6日前後の広島宿泊は無理ではないかと思われる中、宿の予約も無事にとれ、8月5日～9日念願叶い広島慰霊の旅が実現した。

今回の広島の旅で、「求めて動けば、大切な人と出会え、必要な経験が得られる」という実感を得ることが出来た。また、自分に与えられているミッションに気づくヒントを得ることで、大変貴重な経験となった。

70年前の暑さと同じく、広島は暑かった。この暑さの中での体験であるからこそ価値があるとの思いで、汗を流す事を厭わず、精力的に動き回りたいと考えていた。

8月5日15時から広島YWCA主催のワークショップ「建物疎開作業で亡くなった動員学徒の碑」～関千枝子さんと歩く～に参加する。関さんは、現在83歳。元毎日新聞記者、全国婦人新聞編集長を経てノンフィクション作家となる。著書は、「広島第二県女2年西組 原爆で死んだ級友たち」等数多い。

関さんとともに歩きながら、70年前の8月6日広島で起きたこと、原爆で20万人が犠牲になるが、その中でも、旧制中学校、女学校の生徒26,800人が動員され、7,200人が亡くなる原因となった建物疎開がどのような目的で行われ、どのような状況で作業をしていたのか、平和大通りの記念碑を回り、体験を聞くことが出来た。関さんは、少し不自由な足ではあるが、しっかりと歩き、疲れを見せずに精力的に語ってくださった。体力が続く限り、8月6日は広島で過ごす。語り伝えていきたいと、毎年東京から駆け付け、10年以上活動を続けている。



被爆動員学徒慰霊碑

フィールドワーク終了後の振り返りの会では、埼玉県の元高校教員の竹内良男さんと出会い、竹内さんが主宰する8月7日「海から見えるヒロシマ」宇品(うじな)港～似(に)の島(しま)～江田島(えだじま)～金(か)な輪島(わじま) 被爆証言と各島でのフィールドワークに参加することとなった。

8月6日は、平和祈念式典に出席。テレビで見慣れた場所に自分がいることが、不思議に思えた。日本全国・世界各国から本当に多くの方々が、平和と核兵器のない世界を真に望み、祈ることの大切さを痛感した。

8月7日フィールドワークに参加。参加者は50名。被爆2世の方や伝承者として活動や現在養成教育を受けている方であった。似島、江田島、金輪島という地名すら知らないで参加した私は、部外者のような状況だったが、皆さんが温かく受け入れて下さり、充実した時間を過ごすことが出来た。戦時下の3つの島の役割と原爆投下後それぞれの島でどのような事が起き、多くの人々が亡くなり、奇跡的に生き残ることが出来た、寺前妙子さんの証言を伺うなど、全て初めて聞くことで衝撃を受けた。宇品港で解散となったが、一緒に参加していた証言者の方が主宰する、映画とパネルディスカッションに参加することを決め、行動を共にした。



金輪島 慰霊碑

作品は「アトミックママ」原爆について非常に異なった体験を持つ2人の女性についてのドキュメンタリー映画。M.T.シルビア監督が自費で来日し、映画に出演している8歳で被爆した岡田恵美子さんとの対談が上映後に行われるということで、別の視点から原爆が人々に与える影響を考えることが出来た。

この広島での経験は、自分が求め、動くことで、扉は開かれていくというものだった。今の私たちが、しなければならないこと、戦後70年の今だからこそ行動を起こす必要がある。戦争を体験した80代の方々から私たちが引き継ぎ、次に繋げていく役割を担う意味を痛感する広島訪問となった。

帰宅後、私は、東京大空襲についてきちんと理解していないことに気づき、知りたいと動き始めている。12万人の死者を出した東京大空襲。私のライフワークのテーマとして考えている。自分が住んでいる東京で何が起き、空襲の被害により、どのような人生を送らなければならなかったのか、証言して下さる方々の話を聞き、著書を読み、現場を訪れることで、真実を学んでいきたいと考え、行動を起こしている。

◆◆◆会員交流広場◆◆◆

サロンドワイワイ
Salon de YY

会員同士の相互交流のコーナーです。
同窓会の告知、サークル活動の紹介、
悩み事相談など皆さんからのお便りをお待ちしています♪

お茶会しませんか？(第2回)

こんにちは、(^o^)! 皆さんでワイワイお喋りしませんか？

2016年2月20日(土) 15:50 ~ 17:00
YWCA会館216号室

お茶会費は無料で、オススメのお菓子や飲み物を少しずつ持ち寄りで行いたいと思います。

エニアグラム講習会の後に開催します。

講習会の内容、仕事で抱えている悩み事、楽しい事！等々…

色々な職業や年齢の方々とお話しましょう☆

勿論、講習会に参加されていなくても大歓迎です！

非会員の方も参加できます。

是非懐かしい方々に声をかけて皆さんでYにいらして下さい(@~)/~

おひとりでも気軽にいらして下さい♪

元教員 石井須美子、Jr 卒 大庭幸(中道)、CW 卒 仲真葉(秋山)も参加予定です♪

新しい仲間が増えました！

岡澤 和枝さん (旧姓 須山)

東京 YWCA 専門学校社会福祉科卒業、7 回生です。社会福祉協議会に 38 年勤務し、平成 27 年 3 月に退職しました。少し時間ができたので、10 月からボランティアとしてお手伝いをしています。10 年ほど太極拳を続けています。いつか本場中国で舞ってみたいと思っています。





◆◆◆ Information ◆◆◆

会員の輪を広げて支えて下さい!



2015年度介護福祉士実習指導者講習会のお知らせ

受講生募集中! 申込み、まだ間に合います。申込み NPO 事務局 TEL03-6273-7134
開催は2016年1月21日、1月30日、2月4日、2月13日の4日間
講習会場はJR駒込駅東口徒歩2分の愛恵福祉支援財団ビル3階です。費用は27,000円。
詳細はホームページをご覧ください。

ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。(2015年8月~2015年12月現在)

新田和子・渡辺美智子・石井須美子 3名。
誠に勝手ながら、敬称と金額は省略させていただいております。

NPO 法人東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター会員のご案内

~会員になって、東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンターを支えてください。~
会員特典: NPO 主催の講習会費の割引、講師派遣研修費の割引等があります。入会申し込みは事務局まで。

今年度の会費の振込み、お忘れではございませんか?

年会費

正会員 3,000 円/年 賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 一口 20,000 円/年

会費振込先

(ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります)

- ◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501
- ◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義 (2箇所とも口座名義は共通)

特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 代表理事 遠藤久江

発行所 特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人: 石井須美子

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京YWCA会館216号室

TEL・FAX 03-6273-7134

E-Mail: info@ywca-hssc.jp ホームページ: <http://ywca-hssc.jp/> で検索

2015年12月25日~2016年1月4日まで冬季休暇をいただきます。

編集人 仲真葉・大庭幸

